

岐阜市北東部コミュニティセンター評価表

■評価基準

業務の履行状況、市の要求水準に対する達成度など		評価
「協定内容あるいは要求水準等」に対して優れている *協定内容どおり業務を履行し、利用者満足度が優れている場合など		S
「協定内容あるいは要求水準等」に対して良好 *協定内容どおり業務を履行し、利用者満足度が良好な場合など	(100%)	A
「協定内容あるいは要求水準等」に対して概ね良好 *協定内容どおり業務は履行しているが、利用者満足度が概ね良好な場合など	(概ね90%以上)	B
「協定内容あるいは要求水準等」に対して下回る *協定内容の業務に一部不履行がある場合など	(概ね60%以上)	C
「協定内容あるいは要求水準等」に対して顕著に下回る *協定内容の業務に相当不履行がある場合など	(未着手含む)	D

■評価表

区分	選定基準	評価項目	具体的な要求水準	評価
公平性 透明性	市民の平等利用が確保されるか	『住民の平等利用が確保される』ことに対する基本的な考え方（理解度、取組姿勢など）	利用要領に従い、平等な施設利用の承認を行っているか。	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	施設利用者にアンケートを採り、改善点や市民ニーズを把握し、これを運営に反映させて、よりよいセンターの運営に努めているか。	A
安定性 安全性	事業計画の内容に即し、センターの管理を安定的に実施する能力があるか	組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	地域に密着した運営が出来るよう、地元在住者を職員として採用しているか。	A
		スタッフ（採用予定者も含む）の管理、監督体制	より良いサービスを提供するために、職員が勤務しやすい職場環境ができているか。	A
貢献性	地域住民が多く参加する市民活動団体から推薦された者で構成された団体であるか	地域の生涯学習、コミュニティ推進のためのニーズを把握でき、地域と一緒に事業推進ができる組織的な基礎があるか	地域の自治会連合会等の各種団体の代表者で構成する運営組織があり、地域に密着した運営が行われているか。	A

■総合評価

センターの利用状況等については、前年度に比べ、利用者数・利用回数とも増加しており、施設の効率的な運営がされている。

指定管理者が自主的に行っている事業については、日頃のサークル活動の発表の場としての「文化のつどい」の開催をはじめ、地域住民を対象とした「第1回地域講演会」を行うなど、地域に密着した事業運営が行われ評価できる。

昨年は、館内にAED(自動体外式除細動器)が設置されたため、施設利用サークル団体や地域の防災関係団体に呼びかけ「AEDの取り扱い講習会」を実施するなど事業の充実を図っている。

利用者からの苦情もなく、要望等についても、可能な限り迅速に対応しており、適正な運営がなされている。

運営組織は、地域の自治会連合会等の各種団体の代表者により構成されており、利用者が利用しやすい運営方法の改善や施設の維持管理に努めるなど、適正な施設運営が行われていると評価できる。

■岐阜市市民参画部指定管理者選定委員会の意見

平成18年7月から使用料金が改定された中で、利用回数及び利用者数が増加し、また、地域住民を対象とした自主事業を開催するなど、地域に根ざした事業運営が行われており、全体として良好な施設運営がなされていると認められる。

引き続き管理経費の節減に努めるとともに、適正な経理の維持に努められたい。